

## 1 景観計画区域

(景観法第8条第2項第1号 関連)

### (1) 景観計画区域(市域全域)

三島市は、箱根連山を背に霊峰富士を望む温暖で豊かな自然に生まれ、古くから東海道の交通の要衝として栄えてきたまちであり、湧水やせせらぎ、楽寿園や三嶋大社、さらには、富士山の眺望など、優れた自然的・歴史的景観を有しており、今後も適切に保全を図るとともに、さらに優れた景観とするための取組みも求められています。

市街地においては、「街中がせせらぎ事業」をはじめ、市の景観づくりに関わる事業や取組みが積極的に行われ、数々の賞を受賞しており、良好な景観を呈する市として全国的にも認められています。しかし、近年は、高層建築物の立地や屋外広告物の設置なども増加傾向にあり、適切な対応が求められています。

このように本市においては、市域全域に様々な景観要素が広がるとともに、良好な景観形成のための対応も市域全域を対象として取組んでいくことが求められています。

以上のことから、本市の景観計画区域は市域全域とします。



# 三島市景観計画区域図

富士山



## ■三島市位置図



## (2) 地域特性に合わせて景観形成を推進するゾーン

景観形成基本計画に基づき、市域を6つのゾーンに区分し、地域特性に合わせた景観形成を推進します。

### 【6つのゾーン】

箱根西麓の環境保全ゾーン	箱根西麓の環境共生ゾーン
低密度住宅地ゾーン	中心市街地ゾーン
周辺市街地ゾーン	郊外住宅地ゾーン

## (3) 特に景観形成を図る必要がある地区（景観重点整備地区）

特に景観形成を図る必要があると認められる地区については、景観重点整備地区として位置づけ、景観形成の目標および景観形成の基準を定めます。

＜詳細は別冊参照＞

# ゾーン区分図

